



# 下関港・幕末維新伝 ~船を以て貿易が歴史を変えた

## しものせき 船と日本史伝



### 下関戦争勃発!

外国との力の差を思い知らされた長州藩は、倒幕へと考えをよこし、外国への攻撃をやめたどころか、ひそかに外国との交易を進めました。下関の港にはオランダ商船がこっそり入港し、そのことを知っていた桂小五郎(木戸孝允)はメガネを買って、求め、山県有朋はブーツを買っていたという記録が残っています。下関の港の近くには外国接客所までつくられ、ヤカンに交流していたようです。幕府からそのことを問いつめられても知らず知らずのうちに、いふりをしていたのでした。

幕末の下関に、船でこっそりやってきたのは、外国商船だけでなく、龍馬、西郷隆盛、大久保利通など超有名な人物も下関の港を目指してやってきたのです。向かった先は、下関で回船問屋を営む白石正一郎の屋敷でした。浜門と呼ばれた入口から4百人もの志士たちが船を使って入って、幕末の最強軍団とも呼ばれた奇兵隊を結成したのも、この白石邸でした。

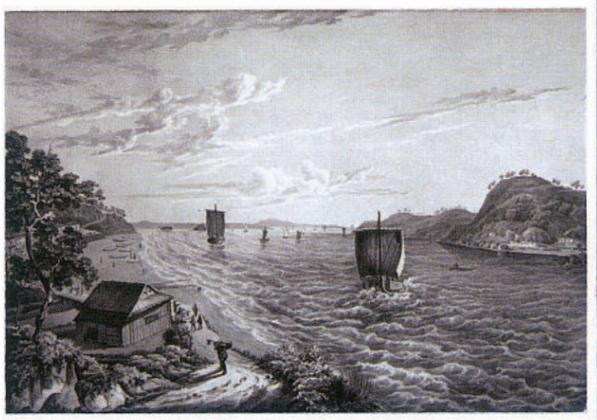
### 薩長同盟成立!

坂本龍馬の活躍により、犬猿の仲だった長州と薩摩は手を結ぶことになりました。そのことで、長州藩は薩摩藩の名前を借りて数多くの近代的な兵器や軍艦を外国から輸入することが可能になりました。その購入の手助けをしたのも龍馬でした。

### 貿易が歴史を変えた

なぜ、長州軍は幕府軍に勝利できたのでしょうか。それは貿易によって最新の船や兵器を手に入れた長州と、旧式の武器しかなかった幕府との力の差によるものでした。幕長戦争とも呼ばれたこの戦いによって、幕府は一気に勢いを失い、政権を朝廷に返し、江戸幕府は滅びました。外国の持つ進んだ技術や知識が日本の歴史を動かしたのです。

### ファン・デル・カペレン海峡の謎



幕末の長州藩は、外国との貿易に猛反対し、下関海峡(関門海峡)を通るアメリカやフランス、オランダの外国商船に向けて攻撃しました。その行動に怒ったアメリカとフランスは、すぐに報復し、オランダにオランダとイギリスを加え、四国連合艦隊が下関を襲い、わずかに三日の間ですべての砲台を占拠しました。

外国との力の差を思い知らされた長州藩は、倒幕へと考えをよこし、外国への攻撃をやめたどころか、ひそかに外国との交易を進めました。下関の港にはオランダ商船がこっそり入港し、そのことを知っていた桂小五郎(木戸孝允)はメガネを買って、求め、山県有朋はブーツを買っていたという記録が残っています。下関の港の近くには外国接客所までつくられ、ヤカンに交流していたようです。幕府からそのことを問いつめられても知らず知らずのうちに、いふりをしていたのでした。

幕末の下関に、船でこっそりやってきたのは、外国商船だけでなく、龍馬、西郷隆盛、大久保利通など超有名な人物も下関の港を目指してやってきたのです。向かった先は、下関で回船問屋を営む白石正一郎の屋敷でした。浜門と呼ばれた入口から4百人もの志士たちが船を使って入って、幕末の最強軍団とも呼ばれた奇兵隊を結成したのも、この白石邸でした。

幕府に逆らい、続けられた長州藩を、15万もの幕府軍が四方面から取り囲みました。対する長州軍は、わずか4千人。この戦いは、四境戦争と呼ばれることになりました。長州藩では、中でも小倉戦争(小倉口の戦い)では、幕府軍2万に対して長州軍はわずか1千。幕府軍の圧勝と思われ、指揮する高杉晋作が指した高杉晋作の軍艦と奇兵隊などの活躍により、長州軍が勝利しました。

幕末に、下関を攻撃したオランダですが、実は江戸時代に下関の人々との友好関係を築いていました。長崎の出島から4年に一度、オランダ商館長が江戸に行くことができた。江戸参府のときも、商館長一行は下関の港へ入港したのです。その一行の中に、シーボルトがいました。シーボルトは、外国接客所となった佐甲家や後に坂本龍馬と妻のお龍が暮らした伊藤家などを訪れ、下関の人々と交流を深めました。

下関が西日本の海上交通と商業の中心地であること、下関海峡の測量や港のスケッチを行わせています。シーボルトは、この絵の題をファン・デル・カペレン海峡と名付けました。実は、これは下関海峡を指した絵だったのです。実際は、ファン・デル・カペレンはオランダ領インド総督を務め、シーボルトを日本に派遣した人物で、その名前から感謝の気持ちで、ファン・デル・カペレン海峡と名付けました。

開国によって、外国との貿易が始まると物価が上がり、疫病(コレラ)も流行するなどの不満がありました。下関では、外国軍艦に民間人が連れ去られる事件や、無断測量事件も起き、外国への反感が高まりました。

外国との貿易が、幕府からそのことを問いつめられても知らず知らずのうちに、いふりをしていたのでした。



白石正一郎の浜門



関門海峡から見た下関

### コラム①

長州藩、外国との貿易なぜ猛反対?

開国によって、外国との貿易が始まると物価が上がり、疫病(コレラ)も流行するなどの不満がありました。下関では、外国軍艦に民間人が連れ去られる事件や、無断測量事件も起き、外国への反感が高まりました。

外国との貿易が、幕府からそのことを問いつめられても知らず知らずのうちに、いふりをしていたのでした。

幕府からそのことを問いつめられても知らず知らずのうちに、いふりをしていたのでした。

幕府からそのことを問いつめられても知らず知らずのうちに、いふりをしていたのでした。

幕府からそのことを問いつめられても知らず知らずのうちに、いふりをしていたのでした。

下関市立名池小学校  
六年一組 瀧口 ひかり  
平成二十八年  
下関港の役割新聞  
平成二十九年  
「横浜みなと物語」

取材のきっかけ  
私は、これまで下関と横浜の港について取材してきました。歴史を学ぶようになってから、船や海運が歴史とどうつながりがあるのか興味を持ちました。そこで今年には、壇ノ浦の戦いや下関戦争など、日本史に度々登場する下関の歴史、船をテーマにしました。

案内人  
サクラ♂  
白文鳥です。鏡が好きです。  
ちみじ♀  
シロ文鳥です。水浴び大好き!  
ユキ♀  
白文鳥です。フランクが好きです。得意だと思いが...

